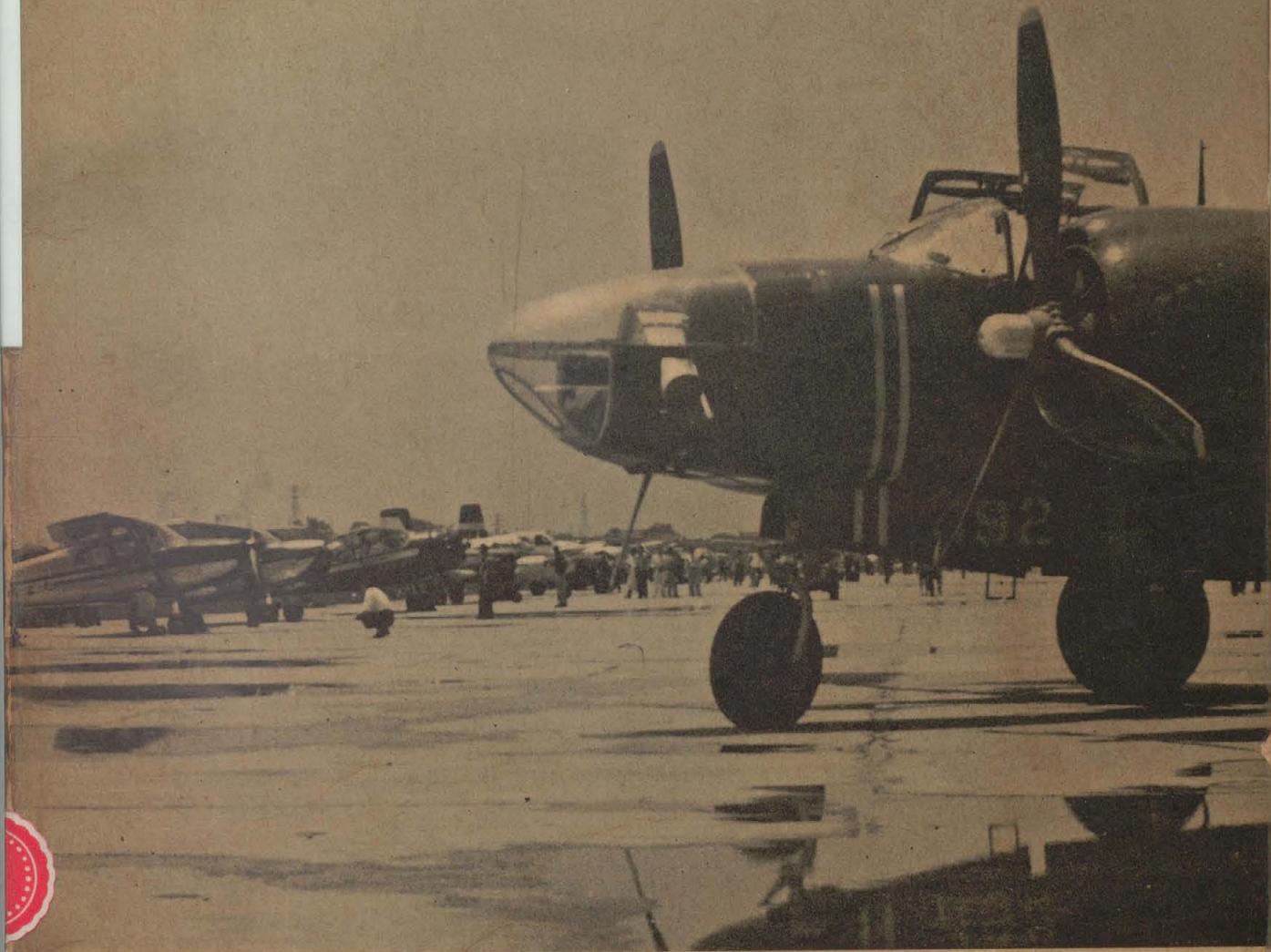


八尾



1956

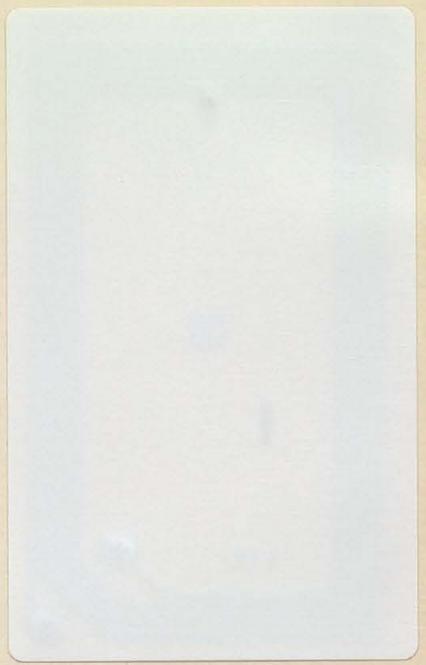
市勢要

八尾市立図書館



117460071

8.27







八尾市章

昭和23年市制発足時広く市民から募集し制定された。「八尾」の文字をローマ字「YAO」を図案化したもので、円は市政の円満を意味し、Yの端が円外に出ているのは市政の発展を象徴している。

目 次

	頁
1. 総 説	5
2. 土 地 人 口	6
3. 行 政	7
4. 財 政	9
5. 教 育	11
6. 社 会 福 祉	14
7. 保 健 衛 生	16
8. 産 業	19
9. 市 民 生 活	22
10. 治 安 防 災	24
11. 水 道	26
12. 建 設	28
13. 運 輸 通 信	31
14. 名 所 旧 跡	41
15. 名 簿	49

表紙説明

本年4月1日全国初の民間航空基地として紹介された八尾飛行場の一部。写真はさる5月29日開催の空港まつり当日同飛行場に勢ぞろいした各社民間航空機。（西辻豊氏撮影）

発刊のことば

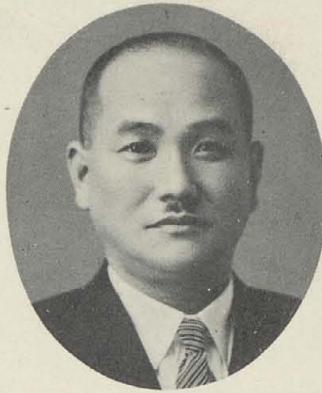
当市は昭和23年誕生、本年4月には全国初の民間空港として「八尾飛行場」を持ち激変する社会の中にあるながらよく健全財政を維持し観光と住宅を併せもつ理想的中堅都市建設を目指して躍進をつづけている。

市内には府下最古といわれる八尾城趾を始めとし、教興寺、大信寺など大小60余カ寺があり、その昔当市が河内平野の中心地として開けていたことを物語る史跡が多い。この古い伝統の上に築かれた近代都市「八尾」に対する市民の建設意欲は市の発展に拍車をかけ、開けゆく航空界と共にその飛躍が約束されている。

ここに発展途上における市の概要をまとめ、市勢要覽31年版を発刊した。いささかでも参考になれば幸いである。



市長 脇田 幾松



市議長 羽多野与久

市
庁
舎
全
景





空から眺めた八尾市



(朝日新聞社提供)



崩壊前の大信寺

八尾別院または八尾御坊とも呼ばれ真宗大谷派の巨刹である。建立は慶長12年3月、本堂は棟行17間、梁行15間の大建築物であつたが、昭和28年3月突如本堂の大屋根が落ちた。（名所旧跡の項参照）

1. 総 説

沿 革

八尾市は上古、「箭尾」または「矢尾」などと記名され、もと、河内神別矢作連（やはぎむらじ）の本居であつた。即ち矢作部（作り箭）の部民の住んでいた所で、地名にも「矢作」「弓場」のように弓矢に関する地名が多く、弓削（ゆげ）郷の一部であつた。また、古来より大寺多く中でも礎石のみを残す竜華寺は河内五大寺の一つ、また、聖徳太子の遺跡も多く、現在市内に60余カ寺があり、その大きなものは莊園又は寺内村を形成し、寺名をその地名とした所も数多く、その昔仏教が盛んであつたことがしのばれる。

古くは国守の所領及び寺院の采地であつた当市は後諸藩の諸領代官に属し、明治維新後は大阪市農局、河内県、或は知藩事の管轄となり、明治4年に堺県、同12年八尾郡役所部内、同14年2月には大阪府の管轄、同22年4月の町村制施行の際に八尾村、竜華村、久宝寺村、三木本村、西郡村、三野郷村、南高安村、中高安村、北高安村、曜川村となつたが、同36年8月八尾村は八尾町、大正2年5月三木本村は大正村と改称、昭和2年6月に竜華村も竜華町となつた。その後旧八尾、竜華、久宝寺、大正、西郡各町村は合議により23年4月1日市制を施行した。

一方隣接の三野郷村は昭和30年1月15日河内市となつたが、同年2月1日同市の1部福万寺、上之島地区が本市へ編入された。また、6年4月、中及び北両高安村の合併により高安村となり、28年4月南高安村は南高安町となり、30年4月3日旧南高安町、高安村、及び曜川村の三カ町村が当市へ編入された。

位 置 ・ 地 勢

当市は大阪市の東方、東住吉区と隣接し、東は南北に走る信

貴、生駒の連峰を境として奈良県に、北は布施、河内、枚岡の各市に、南は松原市及び中河内郡柏原町、南河内郡志紀町に接している。市の中央部は大和川跡であり、昔この川のはんらんにより土砂が沈殿堆積した沖積層の砂壌、土壌の耕地が多く、現在は100~200m巾の砂地となり畑地となつていて。また、東部生駒山麓の恩智川流域一帯は火成岩残積土の砂壌土となつていて。市の南端には大和川が東から西に流れて大阪湾に注ぎ、市内を南北に流れる長瀬、楠根、玉串、恩智の4川はいずれも大和川を源として、かんがいの用をなしている。

氣 候

本市は近畿地方即ち本土の中央部よりやや南部に位し、西は大阪市、東は生駒、葛城の連峰がとりまいて四季の風雨をよく調節し、気温は大阪湾の影響を受けて概ね温和、盛夏で平均30度、極寒時でも氷点下4度を降ることは少い。風向は春は北々東、夏は北東又は北々東、秋は北々東、冬は西風が吹く。7、8月の西風は晴天で高温の日に多く吹き、風は西風で夜になると東に変る。

市域拡張図



□	昭和23年4月1日合併（市制施行）
▨	昭和30年2月1日編入合併
▨▨	昭和30年4月3日合併